

C-22 シリーズ

Premium Brewing System

取扱説明書



C-22 100V
C-22 200V



C-22 サーモブローワー

お客様へ

この度は、弊社のコーヒーマシン「C-22 シリーズ」をご購入いただき、誠にありがとうございます。
マシンを安全に正しくお使いいただけるように、ご使用前にこのマニュアルをお読みになり、内容を十分ご理解ください。このマニュアルは安全な場所に保管して、必要な時に見ることができる状態にしておいてください。このマニュアルの不明な点やご使用中に発生した問題点に関して記載がない場合、販売代理店、または、マニュアルに記載してある連絡先にお問い合わせください。

ブルーマチックジャパン株式会社

目次

・ 安全上の注意(必ずお読みください)	3
・ 各マシンの仕様について	6
・ 準備する まず、確認を!	7
・ マシン各部の名称	8
・ 各部の名称と働き	10
・ 使用する付属品、消耗品	11
・ オープニング作業	12
・ 抽出の手順	13
・ ウォーマー(保温プレート)の操作	14
・ クローズ作業	16
・ デキャンター・ステンレスポットのお手入れ	17
・ プログラミング方法	18
・ プログラミング項目	19
・ 各プログラミング項目の設定について	20
・ エラー表示	25
・ 故障かな?	26
・ 保証とアフターサービスについて	28
・ 保証書	29

安全上のご注意（安全に関する重要事項です必ずお読み下さい）

本製品を使用する際には、ご使用前に安全上のご注意をよくお読みになり正しくお使い下さい。

表示されているマークの説明

 **警告** この表示は誤った取扱いすると人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

 **注意** この表示は誤った取扱いすると人が傷害を負ったりその他の人的物的損害が起きる可能性があることを示しています。

一般的な注意事項

警告

- 製品の分解や修理は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
修理や分解組立が正しく行なわれないと、製品が正常に作動せずに水漏れや感電や火災などの原因となります。また、本体を改造することも絶対に行なわないで下さい。
水漏れや感電や火災の原因となります。
- 異常が発生した場合には、速やかに電源スイッチを切り、本体の電源コードを抜いてください。そしてすぐに販売店もしくは サービスセンターに連絡して下さい
(電源をコード抜く時には感電をしたり火傷をしないようにして下さい。)
- 本体の内部にある部品や電気配線や配管などには手や体を接触させないで下さい。火傷や感電の原因となります。
- この製品が原因でサーキットブレーカーや漏電遮断機が作動をした可能性があるときには速やかに電源を切り販売店もしくはサービスセンターに連絡して下さい。
そのまま使用すると感電や火災などの原因となります。
- 本体が水に濡れた場合や付近でガス漏れの可能性がある場合には直ちに使用を止めてください。ガス漏れの際には使用されているガス器具の注意事項に従って
引火や爆発の危険を避けてください。
- 製品を移動する場合には、電源につながれていないこと、また、十分に冷えていることを確認して行なってください。火傷や感電の原因となります。

注意

- 電気製品を使用する際には火事、感電、怪我の危険を避けるために、常に安全のための基本的な注意事項を守ることが大切です。
電気製品を取り扱う際の一般的な注意事項に従ってご使用下さい。
- 製品の点検やお手入れをする時には、必ず主電源を切り電源コンセントを抜いて行なってください。感電や火傷怪我の原因となります。
- 電源コードをコンセントへ抜き差しする時には電源コードの取扱いに十分に注意して下さい。また、電源コードに人や物が絡まったり、つまづいたり、踏まれたりしないようにして下さい。感電
や火災や怪我の原因となります。
- 長時間製品を使用しないときには、本体の電源スイッチを必ず切ってください。また電源プラグをコンセントから抜いてください。
専用コンセントをお使いの場合にはコンセントを電源から抜いてください。
- 表面が熱くなっている部分には触れないで下さい。火傷や怪我の原因となります。
- 火事、感電や怪我を防ぐために電源コード、プラグや電気製品を水や液体に浸さないで下さい。
- 子供が電気製品を使用するときは十分に子供を監督し、子供の近くで電気製品を使用するときには、細心の注意を払って下さい。
- 部品の取付け、取り外し又は清掃をする時には十分に温度が下がった状態で行なって下さい。
- コードやプラグが傷んでいる場合や正常に動かない時には作動をさせないで下さい。
- 付属品以外のものを使用しないで下さい。火事、感電や怪我の原因になることがあります。
- 野外では使用しないで下さい。
- 電源コードが卓上、カウンター上又は表面が熱くなる場所の上などに垂れ下がらないようにして下さい。
- ガスコンロ、電熱器や熱くなったオープンの上やそばに置かないで下さい。

- 最初にマシン側に電源コードを差し込んだ後でプラグをコンセントに差し込んで下さい。
- マシンの電源スイッチをOFFにしてから電源コンセントからプラグを取り外して下さい。
- 本来の目的以外には使用はしないで下さい。
- お湯が抽出されている時には十分に注意して下さい。火傷や怪我の原因となります。
- このマシンは業務用のマシンです。

設置及び据付時の注意事項



警告

本製品は、使用及び保守の訓練を受けた要員だけに制限されている場所、又は、訓練を受けた要員が監視できる場所に据付して下さい。

- 本体に供給する電源の工事を行う場合には電気設備工事の専門技術者が行き、電源の容量が不足したり設備工事に不備が無いようにしてください。感電や火災の原因になります。
- 製品の据付は認定されたサービスマン以外では絶対に行なわないで下さい。
- 据付を行なう時には本体の電源コードが損傷をしたり、無理な配線をしらないようにして下さい。電源コードが傷んだままで使用をすると感電や火災の原因になります。
- 電源コンセントの形状は接地コンセントタイプのもをお使い下さい。アースが不完全な場合には感電の危険性があります。又、接続する前にマシンの規格が供給される電源に適合していることを確認してください。
- 電源装置には、保護装置(20A 漏電遮断機)が設置されていることを確認して下さい。



注意

- 設置及び据付を行なう際には本体を落下させたり倒したりしないで下さい。落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 据付をする場所は平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所に設置してください。不安定な場所に設置をすると落下や転倒などにより怪我の原因となります。
- 天然木や天然石の上に置く場合には、マシンの洗浄中に水滴や飛沫が飛散して表面を汚したり変質の原因となることがあります。
水や洗浄液飛沫がついても影響の無い材質の上に設置したり、直接当たらない様に保護を行なってください。
- 設置周辺温度が45℃以上になる場所、直射日光が常に当たる場所、埃や塵が多い場所、湿気が高い場所、振動がある場所などには 設置をしないで下さい。
内部の電気部品などの故障の原因となります。
- 本体の周囲に熱がこもらない様に周囲の壁や家具や機器などから10cm以上離して設置してください。 熱がこもると電気部品などの故障の原因となります。
- 水道に直結する場合には**0.5 メガパスカル (Mpa)以下の圧力**であることを確認してください。高い場合には減圧弁を使用してください。
軟水装置もしくは浄水器を使用することをお勧めします。

使用環境条件

気温: 10 - 45 ° C (凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。)

湿度: 80% 以下

硬度: 5° eh, 7° dH, 13° Fh

- (注)お湯では無く必ず水を給水してください。
- (注)水以外の飲料(例えばミルクなど)やミネラルウォーター類は使用しないで下さい。凍結の恐れがある場合にはマシン内の水を抜いてください。

操作を行なう時の注意事項



- 給湯フォーセットは熱くなっていますので注意して取扱いを行なってください。火傷や怪我の原因になります。
- 顔や手に熱湯がかからないように常に注意をして取扱いを行なってください。
- スイッチや電源プラグを水に濡れた手で操作しないで下さい。感電の危険性があります。
- コーヒー抽出口やコーヒーを入れる容器の洗浄は規定どおりに実施してください。
洗浄を行わず放置しておきますと細菌が繁殖して衛生状態を悪化させます。

使用時とメンテナンス時の注意点

- マシンを正しくお使いいただくために、説明書に従って操作を行なって下さい。メンテナンス及び安全性の確認は操作内容を十分に理解して行って下さい。
- 水の供給をしないでマシンを使用しないで下さい。
- 0度以下になる室内に水系統から水抜きをしないままマシンを放置しないで下さい。
- 硬度の高い水を使用する場合には軟水器をしようしてカルシウム成分の固着を防いでください。
- 機器の清掃には、高圧水洗浄機を使用しないで下さい。

マシンの毎日の清掃、特に抽出口やブルーイングコーン、デキャンター、ポット等容器の洗浄を実施しないで故障が発生した場合には製品保証の対象となりません。

各マシンの仕様について

C-22 200V (デキャンター タイプ)	寸 mm(幅×奥行×高さ)	W235 × D555 × H655
	使用電源	単相 200V (50Hz/60Hz) 20A
	電気容量	3950W 19.8A
	ヒーター仕様	200V 3600W
	タンク容量	6L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	標準シャワーヘッド	21 穴スプレーヘッドパープル (5129025)
	標準ブルーイングコーン	ステンレス製ブルーイングコーン(5103357)
	推奨ペーパーフィルター	フィルター-330 (31440)
	付属デキャンター	1.8L ガラスデキャンター(51025)
C-22 100V (デキャンター タイプ)	寸法 mm(幅×奥行×高さ)	W235 × D555 × H655
	使用電源	単相 100V (50Hz/60Hz) 15A
	電気容量	1260W 12.6A
	ヒーター仕様	100V 960W
	タンク容量	6L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	標準シャワーヘッド	21 穴スプレーヘッドパープル (5129025)
	標準ブルーイングコーン	ステンレス製ブルーイングコーン(5103357)
	推奨ペーパーフィルター	フィルター-330 (31440)
	付属デキャンター	1.8L ガラスデキャンター(51025)
C-22 サーモブローワー (ポットタイプ)	寸法 mm(幅×奥行×高さ)	W235 × D515 × H785
	使用電源	単相 200V (50Hz/60Hz) 20A
	電気容量	3160W 15.8A
	ヒーター仕様	200V 3075W
	タンク容量	11L
	温度制御	温度センサー
	抽出方式	ダンプバルブ方式
	標準シャワーヘッド	21 穴スプレーヘッドパープル (5129025)
	標準ブルーイングコーン	ステンレス製ブルーイングコーン(5103357)
	推奨ペーパーフィルター	フィルター-330 (31440)
	付属ポット	無し

※コーヒーマシンは、水道直結の仕様です。浄水器で処理した水道水をご使用の上、0.15Mpa～0.5MPaの水圧範囲でお使いください。水圧が低い場合、給水エラーが発生する場合があります。

※10-45℃の室内環境でご使用ください。環境温度が低い場合、エラーが発生し稼働できない場合があります。

準備する 製品の据付は認定されたサービスマンが行います。

1. 設置する

次のような場所に置いてください。

- 床に防水処理がされている場所
- 熱気・直射日光の当たらない場所
- 湿気が少なく、風通しの良い場所
 - 平坦で水平な場所で、十分に製品の重量に耐えられる場所
 - 電源プラグが掃除しやすい場所
 - 放熱スペースが確保できる場所
(左右 10cm 以上、後方 10cm 以上、上 30cm 以上)

2. コーヒーマシンを固定する

調整脚を回してコーヒーマシンが水平になるように調整する。

3. 給水を接続する

コーヒーマシン背面の給水口に給水ホースを接続する。水漏れしていないか接続を確認する。

4. 電源をコンセントに刺す

C-22 200V/サーモブルーワール : AC200V、20A を使用する。

C-22 100V : AC100V、15A を使用する。

まず、確認を！

上に物を置いていませんか？

ウォーマーは100℃を超えて熱くなります。

次のような場所に置いていませんか？

熱気・直射日光のあたる場所

不安定で傾いたところ

湿気が多く、風通しの悪い場所

電源プラグが掃除しにくい場所(ほこりがたまり、発火の原因に)

放熱スペースは空いていますか？

湿気の多い、水気のある場所ではアースの接地や漏電遮断器は使用していますか？

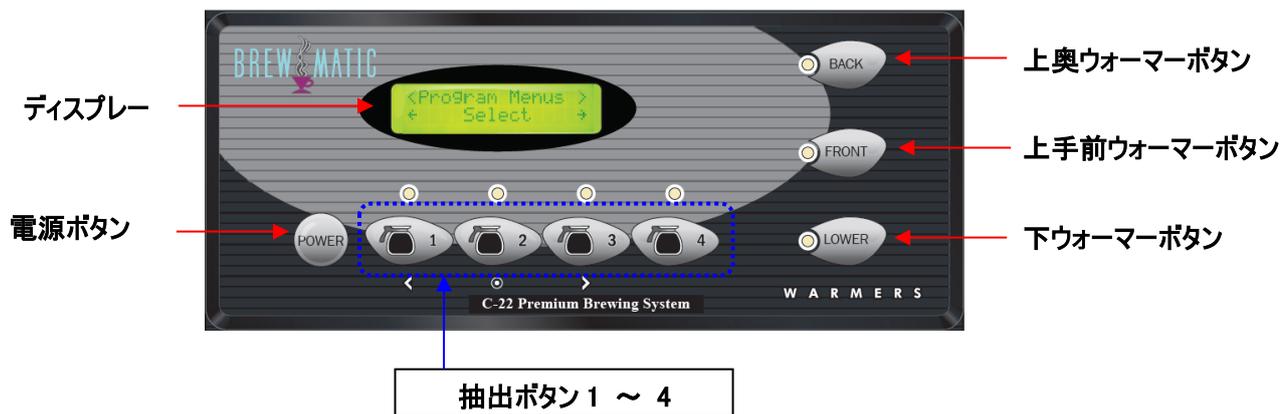
調理場など、湿気・水分の多い場所に置くときは、漏電遮断器の取り付けられたコンセントにコーヒーマシンの電源プラグを挿入し、必ずアース配線の接地接続を行ってください。

マシン各部の名称

C-22 200V / 100V (デキャンタータイプ)



操作パネル



出荷時の標準抽出湯量について

本製品は、出荷時に下記の湯量に設定しております。

(※設定する湯量は、予めお客様に合わせた湯量設定、または設置場所の水圧によって変動する場合がございます。)

	抽出ボタン 1	抽出ボタン 2	抽出ボタン 3	抽出ボタン 4
標準設定湯量	1800cc	1500cc	900cc	600cc

使用しない抽出ボタンがある場合は、プログラムモードの「**ユリヨウセッテイ タイム**」〔Coffee by Time〕(P19 参照)と「**ドリップアウトセッテイ**」〔Coffee Drip-Out〕(P21 参照)の設定を 0 にして下さい。

C-22 サーモブローワー（ポットタイプ）



操作パネル



出荷時の標準抽出湯量について

本製品は、出荷時に下記の湯量に設定しております。

(※設定する湯量は、予めお客様に合わせ湯量設定している場合、または設置場所の水圧によって変動する場合がございます。)

	抽出ボタン 1	抽出ボタン 2	抽出ボタン 3	抽出ボタン 4
標準設定湯量	5000cc	3600cc	1800cc	900cc

使用しない抽出ボタンがある場合は、プログラムモードの「ユリヨウセッテイ タイム」〔Coffee by Time〕(P19 参照)と「ドリップアウトセッテイ」〔Coffee Drip-Out〕(P21 参照)の設定を 0 にして下さい。

各部の名称と働き

電源ボタン	……………	コーヒーマシンの電源を入れる押しボタンです。
抽出ボタン 1	……………	設定されている量のコーヒーを抽出する押しボタンです。抽出中は点灯します。
抽出ボタン 2	……………	設定されている量のコーヒーを抽出する押しボタンです。抽出中は点灯します。
抽出ボタン 3	……………	設定されている量のコーヒーを抽出する押しボタンです。抽出中は点灯します。
抽出ボタン 4	……………	設定されている量のコーヒーを抽出する押しボタンです。抽出中は点灯します。
下ウォーマーボタン	……………	下のウォーマー(保温プレート)の ON/OFF 切り替えの押しボタンです。 ON 状態のときは点灯します。尚、OFF の状態でも抽出する毎に自動でウォーマーヒーターが ON します。
上手前ウォーマーボタン	……………	上手前のウォーマー(保温プレート)の ON/OFF 切り替えの押しボタンです。 ON 状態のときは点灯します。
上奥ウォーマーボタン	……………	上奥のウォーマー(保温プレート)の ON/OFF 切り替えの押しボタンです。 ON 状態のときは点灯します。
ディスプレイ	……………	様々な状況を表示します (タンク内温度、現在の状態、エラー表示など)
給湯フォーセット	……………	お湯を取り出す蛇口です。 注意: コーヒー抽出中には使わないで下さい。抽出中に使用しますと、コーヒーの量やお湯の温度が不安定になり、コーヒーの温度、量、味に影響を及ぼします。また、給水アラーム等が発生することがあります。
ラッチ機能	……………	オペレーターの方が安全にお使いいただくために、抽出中はコーンロックが下りてブルーイングコーンが 抜けないようにロックする機能です。



シャワー口	……………	抽出ボタンを押した時、設定した量の湯が出ます。 (21 穴スプレーヘッドパープルを取り付けて使用します)
オーバーフロー出口	……………	マシンに異常な給水が発生した場合、タンク内から溢れた水(湯)を排出します。



使用する付属品、消耗品

C-22 デキャンター タイプ

- ブルーイングコーン（標準付属品） …… フィルターを敷きコーヒー粉を入れる容器
- フィルター330（別売） …… 径 33cm のペーパーフィルター
- ガラスデキャンター（標準付属品） …… 1.8L ガラス製容器
- ステンレスデキャンター（別売） …… 1.9L ステンレス製容器（真空断熱式・一定時間保温できます）

ブルーイングコーン(標準)



ガラスデキャンター(標準)



ステンレスデキャンター (別売り)



C-22 サーモブルーワー

- ブルーイングコーン（標準付属品） …… フィルターを敷きコーヒー粉を入れる容器
- 大量抽出用ブルーイングコーン(別売) …… 大容量のブルーイングコーン
- フィルター330（別売） …… 径 33cm のペーパーフィルター（標準ブルーイングコーン用）
- フィルター380（別売） …… 径 38cm のペーパーフィルター（大量抽出用ブルーイングコーン用）
- 2.5L ポット(別売) …… 2.5L ステンレス製ポット（真空断熱式・一定時間保温できます）
- 3.8L ポット(別売) …… 3.8L ステンレス製ポット（真空断熱式・一定時間保温できます）
- 5.6L ポット(別売) …… 5.6L ステンレス製ポット（真空断熱式・一定時間保温できます）
- 7.6L ポット(別売) …… 7.6L ステンレス製ポット（真空断熱式・一定時間保温できます）

ブルーイングコーン(標準)



大量抽出用ブルーイングコーン(別売)



C-22 サーモブルーワーは、下記写真のように様々なポットで抽出する事が可能です。

2.5L ポット(別売)
モデル名: SYAJ25



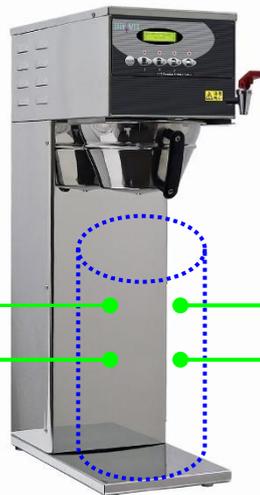
3.8L ポット(別売)
モデル名: TFT01G



5.6L ポット(別売)
モデル名: TFT15G
*置き台を外して抽出してください



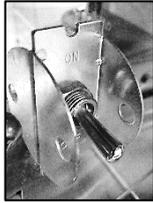
7.6L ポット(別売)
モデル名: CS-20SS
*置き台を外して抽出してください



1. 電源を入れる

本体背面の下位置にある主操作スイッチを ON(上側)に切り替えます。

次に本体正面操作パネルの電源ボタン(POWER)を押すとディスプレイ(表示画面)が点灯します。



主電源スイッチ
(マシン背面下位置)



2. 抽出準備

電源を ON にしますと、レベルセンサーがタンクの満水を検知するまで給水します。

この時のディスプレイの表示は「キュウスイチュウ」と表示されます。

キュウスイチュウ

一定時間を超えても満水を検知できないと、「給水エラー」と表示して、エラー停止します。

タンクが満水になると、給水が止まり、タンクの沸き上げが開始します。

この時のディスプレイの表示は「ヒーティングチュウ」と表示されます。

ヒーティングチュウ

タンク内設定温度(初期設定 92℃)に達するまで沸き上げを行います。

「**」はタンク内の温度を表します。

沸き上げが完了すると、コーヒー抽出が可能になり、ディスプレイの表示は「チュウシュツデキマス」に切り替わります。

タンク内の温度

92

チュウシュツデキマス

初回抽出準備の目安

C-22 200V デキャンタータイプ: 約 10 分

C-22 100V デキャンタータイプ: 約 35 分

C-22 サーモブルーワー : 約 20 分

抽出の手順

1. ブルーイングコーンにフィルターペーパーとコーヒー粉を入れて、マシンにセットして下さい。

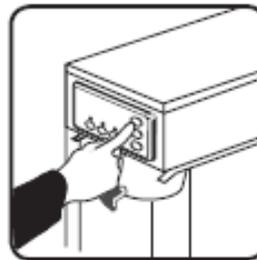
- 1-1 新しいフィルターペーパーをブルーイングコーンにセットします。
- 1-2 抽出するボタンに合ったコーヒー粉を定量入れ、偏りがないようにコーヒー粉を平らに慣らして下さい。
- 1-3 準備したブルーイングコーンをマシンにセットします。
マシンにセットする時は、レールに沿って挿入して下さい。



2. 抽出ボタンを押す

抽出の開始

抽出スイッチ 1～4 から抽出するボタンを選択し、押します。
ボタン毎に設定した湯量でコーヒーを抽出します。

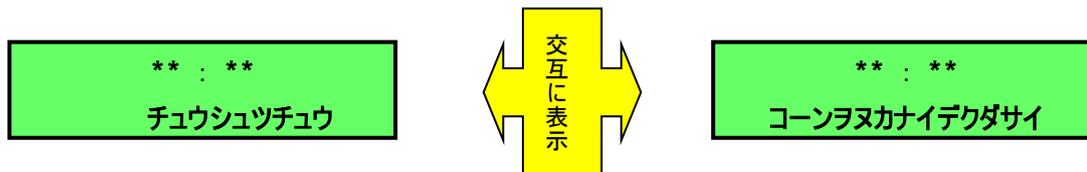


* C-22 サーモブローワーには、ウォーマーボタンはありません

スタンバイ機能： 抽出ボタンを押してもタンク内温度が設定温度まで達していない場合、
湧き上がるまで抽出は開始されません。 設定温度まで沸き上がると自動的に抽出が開始致します。

抽出中

ディスプレイは、抽出中である事をお知らせするようにバックライトが点滅し、抽出完了までの残り時間と状況を交互に表示します。（**:**は設定された時間表示です。）



また、コーヒー抽出開始と同時にラッチ(コーンロック)機能の作動と下ウォーマーが自動的に入ります。

抽出の完了

ディスプレイは時間表示から「チュウシュツカンリョウ」と表示され、抽出の完了をお知らせする完了音が鳴ります。同時にラッチ(コーンロック)機能を解除します。



ブルーイングコーンの抽出口からコーヒーが出ていないか確認して下さい。
 コーヒーが出ていないようであれば抽出完了です。

抽出の停止（キャンセル）

抽出ボタンを誤って押し、抽出してしまった場合やコーヒー粉を間違えて抽出した場合は、電源ボタンを押す事で抽出を停止する事が出来ます。

! 注意)抽出を途中で停止した場合は、ブルーイングコーンの中にお湯がまだ残っている事があります。
 そのまま引き抜きますと火傷の恐れが有りますので、ブルーイングコーンの抽出口から
 コーヒーが出ていない事を確認してからブルーイングコーンを引き抜くようにして下さい。

ウォーマー(保温プレート)の操作

※C-22 サーマブルワーにはウォーマーはありません。

C-22 デキャンタシリーズは、抽出ボタンを押すと同時に自動で下ウォーマーヒーターが入り保温します。

- ・ 上手前や上奥ウォーマーは、各々のウォーマーボタンを押すとボタン横のランプが点灯し、ヒーターが入ります。
- ・ 保温を切りたいときは、そのウォーマーボタンを押します。OFFになると、そのウォーマー通電ランプが消灯します。



ラッチ(コーンロック)機能

コーヒーマシンの抽出ボタンを押すと同時にラッチ(コーンロック)機能が作動いたします。

これは、コーヒー抽出中に誤ってブルーイングコーンを抜けないようにする安全装置です。

抽出工程が終了しますと、ラッチ(コーンロック)機能が自動的に解除され、ブルーイングコーンが引き出せるようになります。

! **注意)** 抽出中は、ラッチ(コーンロック)機能が作動しております。ブルーイングコーンが抜けないからといって、無理矢理ブルーイングコーンを抜きますと機器が破損する恐れがありますので、ご注意ください。

ラッチ(ロック)機能作動前



ラッチ(ロック)機能作動後



 印の箇所より、抽出中ブルーイングコーンが引き抜けないよう コーンロックが作動します。
ラッチの位置は、C-22 デカンタータイプはブルーイングコーンの右側、C-22 サーモブルーワーはブルーイングコーンの左側でございます。

1. 電源を切る

本体正面操作パネルの電源ボタン(POWER)を押すとディスプレイ(表示画面)が消灯します。



2. 清掃をする

- ・マシン本体からブルーイングコーンとデキャンター・ポットを外します。
- ・操作パネル・マシン本体・スプレーヘッドの周辺に付着したコーヒーの微粉や汚れを硬く絞った濡れ布巾等で拭き取ります。
- ・週に1度の頻度でスプレーヘッドを取り外して、スプレーヘッド取付部に付着したコーヒーの微粉や汚れを拭き取り、スプレーヘッドをお湯でまる洗いして乾燥させてから元の位置に取り付けてください。



シャワーヘッド



- ・シンクでブルーイングコーンとデキャンターをまる洗いして、付着したコーヒーの微粉や汚れを落とし、乾燥させます。洗浄にはお湯と柔らかいスポンジを使います。汚れがひどい場合は食器用洗剤を使って洗い、十分にお湯ですすいでください。
- ・ステンレスポットをお使いの場合は内部を洗浄します。フォーセットを開き、コーヒーをすべて排出した後にステンレスポット内部をお湯と柔らかいスポンジを使って洗います。
注意: ステンレスポットは防水構造になっておりません。外装に水を掛ける、水が溜まるシンクに直に置いて洗浄するなどしないでください。また、ステンレスポット内部を洗った後は水気を拭き取り、完全に乾燥させてください。
LED や液晶のあるフタは内部に水滴が残った状態で通電しますと、電装部品の故障が発生することがあります。
注意: 破損や腐食の原因となりますので、ステンレスポット内部の洗浄の際に金属ブラシなどの硬い材質を使う、研磨剤や塩素を含む洗剤を使用するなどしないでください。
- ・ステンレスポットの外装を硬く絞った濡れ布巾等で拭き上げ、乾燥させます。

※長期間使用しない場合、給湯フォーセットからタンクの湯を排出し、水道の元栓を閉めてください。
水漏れ故障がある場合は水道元栓を閉めてください。

デキャンター・ステンレスポットのお手入れ(毎週または隔週を目安)

デキャンター・ポットはコーヒーの油分や微粉の汚れがついてしまうため、定期的にフィルターパウチクリーナーを使用したお手入れをお勧めします。

※フィルターパウチクリーナーは1袋で2.5～5.6Lの溶液を作ることができます。

※続けて複数台のコンテナの清掃を行なう場合は作った溶液の再利用が可能です。

注意: ステンレスポットは防水構造になっておりません。水が溜まるシンクに直に置いて洗浄するなどしないでください。また、ポットの内部を洗った後は水気を拭き取り、完全に乾燥させてください。

LED や液晶のあるフタは内部に水滴が残った状態で通電しますと、電装部品の故障が発生することがあります。

注意: 破損や腐食の原因となりますので、ステンレスポット内部の洗浄の際に金属ブラシなどの硬い道具を使う、研磨剤や塩素を含む洗剤を使用するなどしないでください。

フィルターパウチクリーナー

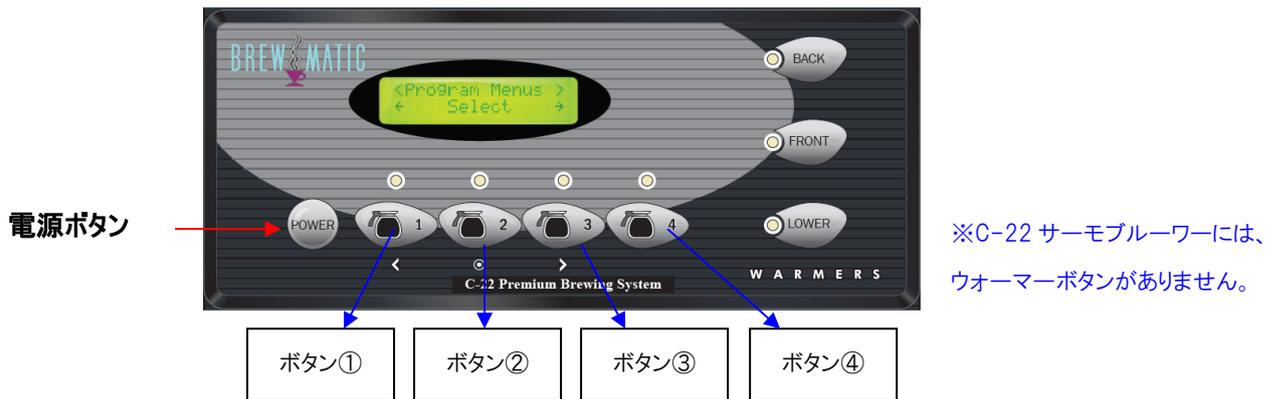


○ フィルターパウチクリーナーを使ったクリーニング

- ① ブルーイングコーンにフィルターパウチクリーナーを入れる。
(デキャンターと5.6L以下のステンレスポットは1袋、7.6Lステンレスポットは2袋)
- ② ブルーイングコーンをマシンにセットする。
- ③ デキャンターまたはステンレスポットをマシンにセットする。
- ④ コーヒーを抽出するように、デキャンターまたはステンレスポットがいっぱいになる量の抽出ボタンを押す。
青い溶液がブルーイングコーンからデキャンターまたはステンレスポットに溜まります。
- ⑤ 抽出が終了したら、そのまま10分間漬け置きをする。
- ⑥ ⑤で使用した溶液を他のデキャンターまたはステンレスポットに溶液を注ぎ10分間漬け置きする。
- ⑦ 青い溶液を排出したデキャンターまたはステンレスポットに少量の湯を注ぎ、柔らかいスポンジで残った汚れを擦り落とします。
- ⑧ 汚れが浮いたらお湯ですすぎ、排水します。
- ⑨ シャンクのナットを緩めて、ステンレスポットはフォーセット Assy を分解します。
- ⑩ シャンクの内側の汚れをナイロンブラシなどを使って擦り落とし、お湯ですすぎます。
- ⑪ 分解したフォーセット Assy 部品を食器用洗剤と柔らかいスポンジでまる洗いします。
十分にお湯ですすぎ、乾燥させます。
- ⑫ 部品が乾燥した後、フォーセット Assy を組み立てます。
フォーセット Assy は消耗部品です。破損、変形や摩耗がある場合は部品を交換してください。
- ⑬ フォーセット Assy をシャンクに組付けナットを締めます。
- ⑭ ステンレスポットの外装を硬く絞った濡れ布巾等で拭き上げ、乾燥させます。

プログラミング方法

操作パネル



マシンをプログラムモードにします。

1. 電源ボタンを押してマシンの電源を OFF にします。
2. ボタン④を押しながら、電源ボタンを押すとディスプレイは次の表示になります。

プログラムモード
ハイリマス

この表示になりましたら、電源ボタンを離し、ボタン④を押し続けます。

3. 押し続けるとディスプレイ表示が下記のように変わり、コード番号入力の表示となります。

パスワード ニュウヨク

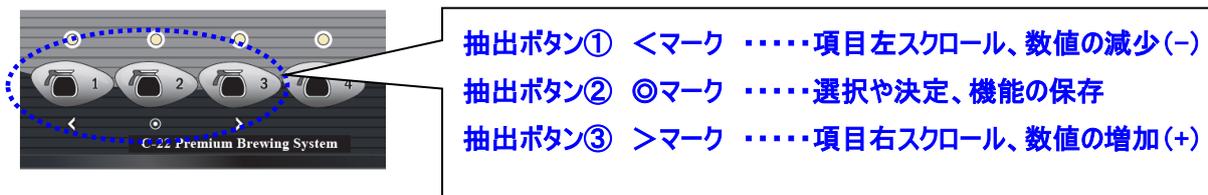
ボタン④を4回押しして入力します。

※ ボタンの入力を間違えた場合は、電源ボタンを押して OFF にしてから、手順 2.からやり直してください。

4. ディスプレーが下記表記となり、プログラムモードに入ります。

<プログラム メニュー>
← センタク →

プログラムモードでは、設定や項目を切り替えるために抽出ボタン①、②、③のボタンで操作します。



プログラミング項目 Menu tree

プログラムメニューの項目から選択してプログラム設定を行います。プログラム設定は下記の順序で移行します。

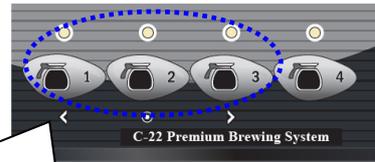
	項目	概要	
	プログラム メニュー	プログラムモード初期画面	
	↓		
1	ユリヨウセッテイ-シュドウ	各ボタンを選択し、湯を抽出させ目視にて湯量設定を行います。	
	↓		
2	ユリヨウセッテイ-タイム	各ボタンを選択し、Timer の数値増減で湯量設定を行います。	
	↓		
3	ムラジカンセッテイ	各ボタンに蒸らし抽出の設定を行います。標準設定は【OFF】 蒸らし機能を有効とした場合は、パルス抽出機能を使用できません。	
	↓		
4	パルスチュウシュツセッテイ	各ボタンに間欠抽出の設定を行います。標準設定は【OFF】 パルス抽出機能を有効とした場合は、蒸らし機能を使用できません。	
	↓		
5	ドリップアウトセッテイ	各ボタンのドリップアウトの設定を行います。標準設定は【1:00-1:30】 シャワー口から供給される湯が止まったとき、コーンの中にはまだコーヒーが溜まっています。 湯が止まってからコーヒーが落ちきるまでの時間を「ドリップアウト」と定義し、設定します。	
	↓		
6	オンドセッテイ	温度設定(°C) 80°C~94°Cまで1°C毎の増減が可能。標準設定は【92°C】	※
	↓		
7	エナジーセーブモード	省電力モードの設定を行います。標準設定は【OFF】 省電力モードから復帰する際、沸き上げに時間を要する場合があります。	※
	↓		
8	チュウシュツカウント 0dm	総抽出量(L)が表示されます。 リセット可能	※
	↓		
9	チュウシュツカウントトータル	累計抽出量(L)が表示されます。 リセット不可能	
	↓		
10	プログラムショキカ	プログラム(レシピ)の初期化設定を行います。	※
	↓		
11	サービスコールトウロク	サービスエラー時に表示する番号などを設定します。標準設定は【OFF】	※
	↓		
12	ディスプレイネームヘンコウ	ディスプレイに表示する文字列を設定します。標準設定は【マシンシリアル No. 】	※
	↓		
13	メンテナンスジキセッテイ	点検等を促すための抽出量を設定します。標準設定は【ON, 20,000 L】 浄水器交換の目安として設定しています。(2020年6月20日出荷以降)	※
	↓		
14	デンシオンセッテイ	Beeper 音の On/Off 設定 標準設定は【ON】	
	↓		
15	チュウシュツカウントダウン	ディスプレイに抽出中のカウントを表記の On/Off 標準設定は【ON】	
	↓		
16	Language	日本語か英語を選択 標準設定は【Japanese<ニホンゴ>】	
	↓		
17	ウォーマータイムセッテイ	下ウォーマーのタイマー設定を行います。標準設定は【30s】 C-22 サーマブルワーの場合は、省略されます。	
	↓		
18	ウォーマーパワーセッティング	各ウォーマーの出力調整の設定をします。標準設定は【90%】 C-22 サーマブルワーの場合は、省略されます。	
	↓		
19	モデルセレクト	モデル設定を行います。C-22 は【C22 DECANTER 3】、C-22 サーマブルワーは【C22 THERMO】 C-22 だがセーター無効の設定は【C22 THERMO】 この項目は、変更しないで下さい。プログラム(レシピ)が工場出荷状態に戻ります。	※
	↓		
	Exit	プログラムモードの終了 プログラムモードから出て、通常使用の状態に戻ります。	

※印の箇所は、マシンの機能的な設定のため、弊社指定サービスマンが操作する項目です。

各プログラミング項目の設定について

<プログラム メニュー>
← センタク →

プログラムメニューにして
ボタン①やボタン③にて項目を移行します。



ボタン① <マーク項目左スクロール、数値の減少(-)

ボタン② ◎マーク選択や決定、機能の保存

ボタン③ >マーク項目右スクロール、数値の増加(+)

1. ユリヨウセッテイ - シュドウ (Coffee by Volume)

手動と自動の2つの湯量設定方法があり、こちらは手動湯量設定の項目です。

湯量を計測できる計量カップを用いて、各ボタンの抽出量の設定を抽出させながら湯量設定できます。

ボタン②を押し、この項目を選択します。ディスプレイは下記の表示となります。

チュウシュツボタンヲ
エランデクダサイ

調整したいボタンを選択すると そのボタンのランプが点灯します。

メニューボタンヲオス 0:00
チュウシュツスタート Time

左記表示となりましたら、もう1度調整するボタンを押すと抽出がスタートし、同時にタイマーカウントします。

メニューボタンヲオス X:XX
チュウシュツストップ Time

適量になりましたら、調整したボタンを押す事で抽出は停止します。
「セーブカンリヨウ」と表示し、その設定湯量を記憶します。

ユリヨウセッテイ - シュドウ
← センタク →

ディスプレイは項目選択の表示に戻ります。

続けて他のボタンを調整する場合は、ボタン②を押しします。

2. ユリヨウセッテイ - タイム (Coffee by Time)

手動と自動の2つの湯量設定方法があり、こちらは自動湯量設定の項目です。

各ボタンの抽出量の設定を0:00~9:55の範囲で時間設定できます。

ボタン②を押し、この項目を選択します。ディスプレイは下記の表示となります。

チュウシュツボタンヲ
エランデクダサイ

調整したいボタンを選択すると そのボタンのランプが点灯します。

Time X:XX ex
← センタク →

ディスプレイ上に現在の設定時間(X:XX)が表示され、カーソルが分または秒の単位に当たって点滅します。分⇄秒に切り替えるには、ボタン①とボタン③でカーソルを移動させます。ボタン②を押すと、分は+1、秒は+5毎に増え、最大値の次は0に戻ります。長押し有効
変更が終わりましたら、ボタン①やボタン③でカーソルを **ex** に合わせ、ボタン②を押すと、設定更新します。

ユリヨウセッテイ - タイム
← センタク →

ディスプレイは項目選択の表示に戻ります。

続けて他のボタンを調整する場合は、ボタン②を押しします。

3. ムラシジカンセッテイ (Coffee Preinfus)

各ボタンの蒸らし抽出機能の有無と蒸らし時間設定ができます。 **初期設定 : OFF**

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- 調整したいボタンを選択します。
- ボタン①やボタン③を押すと設定数値が 10 秒単位で増減します。

設定範囲は Off~60 秒

10 s On / 10s Off

← センタク →

右の設定は、最初に 10 秒抽出して 10 秒間蒸らす抽出設定となります。

- 設定が完了しましたら、ボタン②を押しセーブカンリョウ!(Saving Compete!)と表示、記憶され項目選択の表示に戻ります。

4. パルスチュウシュツセッテイ (Pulse Brew)

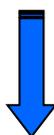
各ボタンのパルス抽出機能の有無とパルスパターン設定ができます。 **初期設定 : OFF**

- ボタン②にてこの項目を選択します。
- 調整したいボタンを選択します。
- まず始めにボタン①やボタン③を押し、間欠抽出する **パターン A~E** を選び、ボタン②で選択します。

パターン	
A	10 秒抽出、5秒間蒸らしを 4 回繰り返す、設定時間完了まで抽出。
B	最初に 1 分抽出後、5秒蒸らし、10 秒抽出を 4 回繰り返す、設定時間完了まで抽出。
C	25 秒抽出、10 秒蒸らす設定を 5 回繰り返す、設定時間完了まで抽出。
D	最初 30 秒抽出、その後の抽出と蒸らす秒数をマニュアルで設定します。 最大蒸らし回数 20 回。 ON/OFF の設定範囲=5~150 秒
E	抽出、蒸らし時間をマニュアルで設定出来ます。 最大蒸らし回数は8回。 ON/OFF の設定範囲=0~150 秒

- パターン D・E を選択した場合は、マニュアルで抽出と蒸らす秒数を下記の要領で設定します。

クリカエシサイクル <1> ← センタク →	間欠の 1 回目設定をします。 ボタン②を押します。
チュウシュツジカン <15s> ← センタク →	抽出する秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。
テイシジカン <20s> ← センタク →	蒸らす秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。
クリカエシサイクル <2> ← センタク →	間欠の 2 回目設定をします。 ボタン②を押します。
チュウシュツジカン <XXs> ← センタク →	抽出する秒数をボタン①と③で増減させ、ボタン②で決定。 この操作を間欠抽出する回数分設定していきます。 ON time を 00 秒に設定するとその時点の回数で終了となりマシンに記憶します。



ボタン②を押し記憶され、ディスプレイは項目選択の表示に戻ります。

5. ドリップアウトセッテイ (Coffee Drip-Out) 初期設定 : 1:00-1:30

各ボタンの完成時間を調整します。

完成時間とは: シャワー口から供給される湯が止まったとき、コーンの中にはまだコーヒーが溜まっています。湯が止まってからコーヒーが落ちきるまでの時間を「ドリップアウト」と定義し、設定します。

 **注意) この時間を短く設定すると、ブルーイングコーンからまだコーヒーが落ちている最中にラッチ機能が解除され、ブルーイングコーンを引き抜いた際に残った湯で火傷する恐れがありますので、短く設定する事は避けて下さい。**

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ 調整したいボタンを選択します。ディスプレイは右の表示になります。
- ・ ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が5秒毎に増減します。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。



ドリップ <1:30> Min
← センタク →

6. オンドセッテイ (Temperature)

タンク内の温度設定の調整が出来ます。 初期設定値 : 92℃

設定温度範囲 80℃～94℃まで設定が可能です。



タンクオンド <92℃>
- センタク +

 **注意) マシンの機能的な設定のため、弊社指定サービスマンが操作する項目です。変更を希望される場合は、販売店または弊社コールセンターにご連絡下さい。**

7. エナジーセーブモード (Energy Save Mode)

エナジーセーブ機能の有無を設定出来ます。 初期設定 : OFF

 **注意) マシンの機能的な設定のため、弊社指定サービスマンが操作する項目です。変更を希望される場合は、販売店または弊社コールセンターにご連絡下さい。**

8. チュウシュツカウントOdm (Brew Count Odm)

マシンの抽出総湯量(L)を表示します。 カウントを初期状態(リセット)にする事ができ、再度0からスタートさせ総湯量(L)を確認することが出来ます。(湯フォーセットで使用した湯量を含みません。)

 **注意) マシンの管理に活用するデータのため、弊社指定サービスマン以外の方はリセット操作しないでください。**

9. チュウシュツカウントトータル (Brew Count Total)

マシンの累積抽出湯量(L)を表示します。 カウントを初期状態(リセット)にする事ができません。

10. プログラムシヨキカ (Master Reset)

設定したプログラムレシピを工場出荷状態へ戻す事が出来ます。

 **注意) 工場出荷状態に戻ります。弊社指定サービスマン以外の方は設定変更しないでください。**

11. サービスコールトウロク (Service Call) 標準設定 :OFF

設定しますと、サービスエラーが発生した時にディスプレイ表示に入力した文言(電話番号など)を表示します。

 **注意** マシンの管理に活用するデータのため、弊社指定サービスマン以外の方は設定変更しないでください。

12. ディスプレイネームヘンコウ (Banner Name) 標準設定 : マシンシリアル No.

設定しますと、マシン OFF や待機中のディスプレイ表示に入力した文言を表示します。

 **注意** マシンの管理に活用するデータのため、弊社指定サービスマン以外の方は設定変更しないでください。

13. メンテナンスジキセツタイ(P-Maintenance) 標準設定 : ON, 20,000L (2020年6月20日出荷以降)

 **注意** マシンの管理に活用するデータのため、弊社指定サービスマン以外の方は設定変更しないでください。

14. デンシオンセツタイ(Beeper On/Off) 標準設定 : ON

ボタンを押した時や抽出完了時等の Beep 音の有無を選択できます。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ボタン①やボタン③で On(機能させる), Off(機能させない)を切り替えます。
- ・ ボタン②にて切り替えた機能を実行させ、項目選択の表示に戻ります。

15. チュウシュツカウントダウン (Disp1. Brew Time) 標準設定 : ON

ディスプレイに抽出時のカウントアップタイマー表示の有無を選択できます。

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ボタン①やボタン③で On(機能させる), Off(機能させない)を切り替えます。
- ・ ボタン②にて切り替えた機能を実行させ、項目選択の表示に戻ります。

16. Language 標準設定 : Japanese<ニホンゴ>

表示する言語の設定をします。(日本語、英語のどちらかを選択)

17. ウォーマータイムセッテイ (Quality Timer)

下ウォーマーのみにウォーマータイマーを設定します。 **標準設定 : 30 分**

設定範囲 Off, 20 分~120 分

(OFF の場合は、ウォーマータイマーは作動せず、ウォーマースイッチを ON にすると加熱を続けます。)

ボタン②にてこの項目を選択します。

- ・ ディスプレーは右記表記となります。
- ・ ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が 10 分毎に増減します。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

タイマーが作動すると右記表示で点滅し、下ウォーマーの加熱は続けます。
解除するには、下ウォーマーを切るか、新たに準備し抽出ボタンを押します。

セッテイタイム < 30 > Min
— センタク +

Brew Fresh Coffee
チュウシュツデキマス

18. ウォーマーパワーセッティング (Warmers settings)

各ウォーマーの出力設定が出来ます。 **標準設定 : 90%**

この機能は最適な保管温度を保つようにコントロール基盤にて、ウォーマー電源の ON、OFF を繰り返し、温度制御させる機能です。

設定範囲 50%~100%

- ・ ボタン②にてこの項目を選択します。
- ・ ディスプレーは右記表記となります。
- ・ 設定したいウォーマーボタンを押します。
- ・ 現在の設定値 %が表示しますので、ボタン①やボタン③を押す事で設定時間が 1%毎に増減します。
- ・ 設定が完了しましたら、ボタン②を押し記憶され、項目選択の表示に戻ります。

ウォーマーボタンヲ
エランデクダサイ

↓ 設定するウォーマーボタンを押す

ウォーマーパワー < 90 > %
— センタク +

19. モデルセレクト (Model select)

マシンのモデルを選択

 **注意) レシピが工場出荷状態に戻りますので、弊社指定サービスマン以外の方は設定変更しないでください。**

全ての設定が完了しましたら、項目を EXIT に合わせ、ボタン②を押してプログラムモードを抜けます。

プログラムモードを抜けますと通常使用のディスプレイの状態に戻ります。

エラー表示

コーヒーマシンのエラー・アラーム表示

不具合発生時、ディスプレイにエラーが表示されると共に音が鳴り、ディスプレイバックライトが点滅します。

エラーメッセージ	原因	処置
キュウスイエラー Water Level Error (給水異常のエラー表示) ※処置を行い、背面のメインスイッチを1度OFFし、5秒後にONします。異常が解消されればエラーメッセージが消えます。	タンクへの給水時、給水電磁弁が電源ON後は10分以上、通常使用中は30秒以上連続して開いても満水にならない。	給水元栓が閉まっているか確認する。
		マシン後ろ側から接続する給水ホースが折れ曲がっていないか確認する。
		浄水器のフィルターが詰まっていないか確認する。
		処置を行い、再起動後に同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。
オンドセンサーエラー Sensor Error (温度センサーのエラー表示) ※処置を行い、背面のメインスイッチを1度OFFし、5秒後にONします。異常が解消されればエラーメッセージが消えます。	温度センサーの異常	周囲の環境が10℃以下でないか確認する。
		処置を行い、再起動後に同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。
カジョウオンドエラー Over Temp. Error (過剰温度検知のエラー表示) ※処置を行い、背面のメインスイッチを1度OFFし、5秒後にONします。異常が解消されればエラーメッセージが消えます。	温度センサーが98℃以上を感知した。	マシン背面下位置の主電源スイッチをOFF(下に倒す)にして、タンク内の湯の温度を冷ましてから、ON(上に倒す)にする。 処置を行い、再起動後に同エラーが再発する場合は、ご使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。

アラームメッセージ	原因	処置
Low Water Flow (給水のアラーム表示) ※給水の流量が少ない異常が解消されると、自動的にアラームメッセージが消えます。症状が継続するとWater Level Errorが発生し、エラー停止します。	タンクへの給水時、給水電磁弁が規定の時間以上連続して開いていても満水にならない。	給水元栓が閉まっているか確認してください。
		マシン後ろ側から接続する給水ホースが折れ曲がっていないか確認してください。
		浄水器のフィルターが詰まっていないか確認してください。

故障かな？（お問い合わせや修理を依頼される前にご確認を。）

こんな場合は	原因	処置
操作パネルの電源ボタンを押しても通電しない	主電源スイッチが入っていない 電源プラグが抜けている ブレーカーが切になっている。 部品の故障	主電源スイッチ(背面)を上を倒す。 コンセントに電源プラグを挿す。 ブレーカーが切れた原因を解消し、ブレーカーを入にする。 上記処置を行った後に操作パネルの電源ボタンを押しても、再発する場合は、使用を止め弊社コールセンターにご連絡ください。
立ち上げ後タッチパネルに Heating が 30 分以上表示されているがマシンが冷たい	ヒーター過負荷検知保護回路発動 部品の故障	主電源スイッチを切って、弊社コールセンターにご連絡ください。
マシンにコーヒーや湯などの液体をこぼして、マシンの内部に液体が侵入した可能性がある	ブルーイングコーン、デキャンター、ポットを正しい位置にセットせずに抽出した等	主電源スイッチを切って、マシンにこぼれた液体を拭き取って乾燥させる。マシンの内部に侵入した可能性がある場合は、完全に乾燥するまで電源を入れしないでください。 漏電や故障が発生する恐れがあります。
抽出量が減った	時間当たりの湯量に変化した。 スプレーヘッドが目詰まりしている。 部品の故障	各抽出ボタンに対して適正な湯量になるように「 ユリヨウセツテイ 」の値を変更する。(P19 参照) スプレーヘッドが目詰まりしている場合は穴を清掃する。 処置をしても再発する場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。
抽出量がばらつくことがある	抽出中に給湯フォーセットからお湯を汲んだため、一時的に湯量が減った。 給水の流量、水圧が不安定 供給電圧が不安定 部品の故障	抽出中にお湯を汲まない。 給水が規定内で安定する条件で使用する。 供給電圧が規定内で安定する条件で使用する。 処置をしても再発する場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。
抽出量が増えた コーヒーがペーパーフィルターやバスケットからあふれる	バスケットが付いていない シャワーヘッドが付いていない ペーパーフィルターのサイズが小さい ペーパーフィルターを数枚重ねた コーヒー粉の入れすぎ	バスケットを取り付ける シャワーヘッドを取り付ける 標準サイズ:フィルター330を使用する ペーパーフィルター1枚で使用する 規定の粉量を使用する
ブルーイングコーンから抽出されるコーヒーがぬるい	抽出中に給湯フォーセットからお湯を汲んだため一時的に湯温が低くなった。 部品の故障	抽出中にお湯を汲まない。 処置をしても再発する場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。

こんな場合は	原因	処置
<p>デキャンター、ポット内のコーヒーがぬるい (ブルーイングコーンから抽出されるコーヒーの温度は適温)</p>	<p>湯煎をしていない冷えたデキャンター、ポットに抽出した。 抽出後、フタを付け忘れた。 エアコンの風や冷えた外気が当たる ウォーマー出力が弱い ウォーマーが OFF になっている。(C-22) 部品の消耗または故障</p>	<p>湯煎をして温めたデキャンター、ポットに抽出し、抽出後速やかにフタを被せて冷めにくくする。 冷えた風を遮断するか、設置場所を変える。 ウォーマー出力を 100% に設定する。(標準は 90%) 操作パネルのウォーマー通電ランプが点灯しているのにウォーマープレートが温まらない場合は、弊社コールセンターにご連絡ください。(C-22 のみ)</p>
<p>給湯フォーセットから湯が漏れる。 給湯フォーセットから湯が出ない。</p>	<p>給湯フォーセットパッキンに異物が挟まった。給湯フォーセットの消耗</p>	<p>給湯フォーセットを分解してまる洗い、再設置する。 破損、変形や摩耗がある場合は部品(パッキン等)を交換する。</p>
<p>抽出していないのに、スプレーヘッドから湯が漏れる</p>	<p>部品の消耗または故障</p>	<p>主電源スイッチを切って、弊社コールセンターにご連絡ください。</p>
<p>オーバーフロー口から水漏れする</p>	<p>部品の消耗または故障。給水電磁弁に異物が挟まった タンク内のお湯が膨張または沸騰して溢れた</p>	<p>主電源スイッチを切って、弊社コールセンターにご連絡ください。 主電源スイッチを切っても、水漏れする場合は、元栓を閉めてください。</p>
<p>操作パネルにエラー表示された</p>	<p>Water Level ERR. Sensor Error Over Temp.Error</p>	<p>P25 を参考に対応</p>

保証とアフターサービスについて

1. 保証書

- 本書に添付しています。
- 保証書は「お買い上げ日」の記入をお確かめのうえ、お受け取りください。
※記入が無い場合でも、お買い上げ日を証明する書類がある場合は、本保証書と一緒に保管してください。
- 保証書記載の修理規定をよくお読みになり大切に保管してください。

2. 修理を依頼されるとき

取扱説明書の内容をお確かめいただき、不具合が直らないときは電源プラグをコンセントから抜き、当社に修理についてご相談ください。

- 保証期間中の修理
保証書の規定により無料修理致します。お買い上げの販売店または当社までお申し出ください。
- 保証期間経過後の修理
修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理をさせていただきます。当社にご相談ください。
- 販売店が独自に定める延長保証(長期保証)サービスをご利用の場合
お買い求めの販売店にご相談ください。

コールセンター

ブルーマチックジャパン株式会社

045-947-0804

受付時間:365日 24時間

※夜間については、受付業務のみとさせていただきます。

3. アフターサービスについてご不明な場合

- アフターサービスについてのご質問等ありましたら、当社にお問合せください。

アフターサービスを依頼される場合は次の内容をご連絡ください。

- | | |
|-------|---------------------|
| ●お名前 | ●商品名 |
| ●ご住所 | ●製造番号 |
| ●電話番号 | ●故障の状態、状況(出来るだけ詳しく) |

ご使用の際の注意事項

コーヒーマシンを常に最適な状態に保つために、定期的な清掃作業を行ってください。

清掃作業は取扱説明書に従い、適切に洗浄してください。

使用開始前及び終了後は取扱説明書に従い洗浄してください。

使用中に取扱説明書に書かれていない不具合が発生したら直ちにご使用を止め、当社へご連絡ください。

補修用性能部品の保有期間について

当社では、補修用性能部品について、最終輸入日から5年間保有しております。

※補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

保 証 書(業務用マシン)	
型 名	ブルーマチック C-22シリーズ
シリアル番号	
保証期間	ご購入時または設置の早い方の日から1年間
※お買い上げ日	年 月 日
※お客様	お 名 前
	住 所
	〒
	電話()

- ※印欄に記入の無い場合は有効となりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。
- 本保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■対象マシン

本保証書に記載のマシン。

■サービス提供

「出張修理」

■保証サービス規程

ブルーマチック保証サービス(以下「本保証」といいます。)は、商品のご購入または設置の早い方の日から開始され、ブルーマチックジャパン株式会社(以下「ブルーマチック」といいます)がサービスを運営・提供します。保証書に記載された製品(以下「本製品」といいます。)について、「保証サービス規程」(以下「本規程」といいます。)に定めるところに従い、無償修理(以下「保証修理」といいます。)を提供します。

第1条. 保証範囲

1. 本保証は、本製品の取扱説明書や注意書に従って正常に使用したにもかかわらず、本製品に生じた電氣的・機械的故障で且つ、本製品のメーカー保証規定にて保証対象となる故障(以下「自然故障」といいます。)を対象とします。
2. 第10条で定める「保証の適用除外事項」に該当する場合には、自然故障であっても本保証の対象外とします。

第2条. 保証期間

本保証が効力を有する期間は、本製品のご購入または設置の早い方の日から開始し、その後1年間が経過した時点で満了いたします。(以下、この期間を「保証期間」といいます。)。保証期間内において本製品に係る修理回数に制限はないものとします。保証期間内に初期不良等によりブルーマチックより交換品(新品)が提供された場合、その他事由の如何を問わず、保証終了日は変更されないものとします。

第3条. 保証内容

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、当該自然故障に係る保証修理に要する金額が、購入金額を超えない範囲で保証修理を行います。(以下、「上限金額」といいます。)。なお、修理見積りが上限金額を超えた場合は、差額をご負担いただくことで修理いたします。保証上限金額は消費税込の金額となります。本製品は、ブルーマチックが規定する出張修理対象製品であるため、出張修理での保証修理を行います。この場合の出張料は本保証に含まれます。

第4条. 保証の終了

以下の事項に該当する場合には、本保証は終了となります。

1. 第2条に定めるところに従い、保証期間が満了した場合。
2. メーカーの倒産、事業撤退、修理部品の供給停止、その他メーカーがその責任により本製品の修理を行わず、又は修理のための部品等の供給を行えない状態となった場合(事業承継等により、メーカーと同水準・同条件にて修理を行う者が存在する場合、又は代替品の提供が可能な場合は除く。)

第5条. お客様のご負担となる主な費用

以下に定める事由のないし費用は、本保証には含まれておらず、専らお客様のご負担によるものとします。但し、本保証の範囲外の事由のないし費用を、これらに限定する趣旨ではありません。

1. 本製品の修理方法を問わず、ブルーマチックジャパンの定める離島及び遠隔地の場合における、保証修理に要する交通費・宿泊費 等。
2. 本製品の設置・工事費用及び本製品の処分に係る費用。
3. 本保証利用時にお客様からのご連絡に必要な費用、その他通信費用。
4. 本保証の対象外となる故障及び当該故障の修理に必要な費用。
5. 本保証の対象外となり、保証修理をキャンセルされた場合に必要となる技術費用、出張費用、物流費用、見積費用等の一切の費用。
6. 修理以外の点検費用や消耗品を使用した場合の費用。

第6条. 保証修理の依頼方法

保証期間内に本製品に自然故障が発生した場合には、お客様は、ブルーマチックコールセンター(下記記載)に連絡して保証修理をご依頼ください。保証修理受付時に、保証修理手続の手順をご説明しますので、説明手順に従ってください。

ブルーマチックコールセンター045-947-0804

1. お客様による保証修理のご依頼をいただいた際、ブルーマチックコールセンター、お客様の本保証に関する保証登録情報(製品情報及び個人情報)の確認をいたします。お客様より保証修理依頼に際してご通知いただいた情報と登録情報との間に相違があった場合、その他お客様より必要な情報のご通知をいただけない場合には、本保証が提供されない場合がございますので、お客様におかれましては、本保証の加入後、保証書(必要情報が記載されております。)の保管・管理に十分ご注意くださいようお願いいたします。
2. ブルーマチックが必要と判断した場合に本製品に係る記憶装置のデータの消去を行うことについては、お客様には事前にご同意いただいているものとし、何ら異議を述べないものとします。
3. お客様のご都合により、修理受付日から1カ月経過しても修理の着手ができない場合には、修理受付を無効とします。

第7条. 登録情報の変更

以下の場合には、お客様におかれましては、速やかにブルーマチックコールセンターまでご通知ください。ご通知いただけなかった場合には、本保証が適用されない場合があります。なお、保証書に記載されたお客様情報の変更は、保証書に記載されたお客様から、ご通知いただいた場合に限り承ります。

1. 保証期間中に加入者名の変更や連絡先電話番号、住所等の変更がある場合。本規程をご説明の上、お客様より新しい所有者の情報をご通知ください。系列店の譲渡のみ所有者情報変更を承ります。本製品の第三者への転売や譲渡をされる場合には、本保証は終了となります。

第8条. 個人情報の使用

ブルーマチックは、お客様よりご提供いただいた保証項目、個人情報等を保管、使用、処理の上、本保証を提供します。また、本保証を提供する為、以下の場合に限り、ブルーマチックの責任において、事業協力会社(メーカー・修理会社・販売店・金融機関等)へお客様の個人情報を提供します。

1. 保証修理(代替品の提供を含む。)に際してブルーマチックと事業協力会社による個人情報の共有が必要となる場合。
2. 本保証およびその他のサービスの品質向上を目的として、お客様に電子メール、郵便物によるアンケート調査。
3. サービス案内およびキャンペーン等の実施。
4. 本保証の品質向上を目的として、お客様における本保証の利用に関する情報を収集し分析すること。
5. 個人情報の取扱いの全部または一部を委託する場合があります。
6. ご提供いただいた個人情報を同意なしに第三者へ提供することはありません。

お客様からの求めにより、ご提供いただいた個人情報について、その"利用目的の通知、開示、追加訂正または削除、利用の停止消去および第三者への提供の停止(以下「開示等」といいます。))に応じます。

第9条. 間接損害

本保証に関する法律上の請求において、間接損害(事業利益の損失、事業の中断、事業情報の損失等)、特別損害、付随的損害、拡大被害、他の機器や部品に対するデータの損失又は損傷、第三者からの賠償請求に基づく損害、身体障害(障害に起因する死亡及び怪我を含む。))並びに他の財物に生じた損害に関して、ブルーマチックは一切の責任を負わないものとします。但し、ブルーマチックの故意又は重過失によるものがある場合には、この限りではありません。

第10条. 保証の適用除外事項

以下の事項に該当する場合には、本保証は適用されないものとします。

1. お客様又は第三者の故意若しくは過失又はメーカー保証の対象外である加工、改造、修理、設置、工事若しくは清掃に起因する故障及び障害。
2. 使用する水質、水圧等の不良が原因で発生した故障及び損傷。
3. 取扱説明書、注意書に記載している取扱方法は異なる不適切な使用(日常のお手入れ、改造行為、増設、電池漏洩等)等、取扱いが不適当であることに起因する故障及び損害。
4. メーカーが定める想定された用法を超える過酷な使用に起因する故障及び損害(車両、船舶への搭載、高温、高湿度等の特殊な環境での使用を含む。))。
5. 破損、落下、衝撃、火災、落雷、過電流、異常電圧、塩害、公害、水害、地震、その他天災地変や、異物の混入(金属、カビ、塵、埃、虫、鼠等)の外部要因事由に起因する故障及び損害。
6. 消耗品(浄水カートリッジ、クリーナー、フィルターペーパー、パッキング、ガスケット、電池、等ブルーマチックジャパンが指定する部品)の交換に係る費用。
7. 消耗品単体の故障及び損害。
8. メーカー指定外の消耗品の使用に起因する故障及び損害。
9. 盗難、紛失、その他の事由により、お客様が本製品を保有しておらず、本製品の状態が確認できない場合。
10. 経年劣化あるいは使用損耗により発生する現象で、通常使用に支障の無い部分で経年劣化の範囲に相当するもの(外装面、塗装面、メッキ面、樹脂部分、スプリング等のヘタリ、自然退色、劣化、錆、腐食、カビ変質、変色、その他類似の事由等)。
11. 本製品の機能及び使用の際に影響の無い損害(外観、傷、液晶の画面焼けやピクセル抜け及び輝度低下を含む。))。
12. 本製品の仕様、構造上又は本来の性質に基づく制限、不利益等。
13. 本製品の付属部品、アクセサリ、周辺機器等の本製品以外の製品の故障、増設機器等の相性に起因する故障及び不具合。
14. ブルーマチックが保証修理の依頼を受けた本製品の点検・診断を実施した結果、故障の存在を確認できなかった場合。
15. 本保証の対象外に起因する故障であることが判明した場合の修理技術費用、部品代金、出張費用、物流費用、修理見積費用等。
16. 修理を伴わない調整(味や量、ミルク泡立ち、メニュー変更や追加)、清掃。
17. お客様ご自身で付加されたラベル・シート・カバー類、塗装・刻印等を元の状態に復旧する費用。
18. 本製品を日本国外に持ち出された場合の日本国外からの保証修理依頼。
19. 国又は公共団体の公権力の行使に起因する故障及び損害。
20. 核燃料物質若しくは核燃料物質による汚染された物の放射性、爆発性その他の有害な特性に起因する故障及び損害。
21. 戦争(宣戦の有無を問わず)、外国の武力行使、革命、内乱その他これらに類似の事変に起因する故障及び損害。
22. 本製品の損害に係る申告内容の真実性について明らかな疑義がある場合。
23. 本製品と異なる製品(シリアル番号等が異なる場合等)の修理をご依頼された場合や、本製品のシリアル番号が確認できない場合(但し、製品の内蔵データ等から本製品と同一と確認ができる場合を除く。))

第11条. 本保証の解約

本保証は加入後から保証期間終了までの間、解約することは出来ません。

第12条. 解除

ブルーマチックは、お客様が、次のいずれかに該当する場合には、お客様に対する書面による通知をもって、本保証を解除することができます。

1. 暴力団、暴力団員(暴力団員でなくなった日から5年を経過しない者を含む。)、暴力団準構成員、暴力団関係企業その他の反社会的勢力(以下「反社会的勢力」といいます。))に該当すると認められること。
2. 反社会的勢力に対して資金等を提供し、又は便宜を供与する等の関与をしていると認められること。
3. 反社会的勢力を不当に利用していると認められること。
4. 法人である場合において、反社会的勢力がその法人の経営を支配し、又はその法人の経営に実質的に関与していると認められること。
5. その他反社会的勢力と社会的に非難されるべき関係を有していると認められること。

前項の規定による解除が自然故障の後になされた場合であっても、前項各号の事由が生じた時から解除がなされた時までには発生した自然故障については、保証修理を行いません。この場合において、既に保証修理を行っていた時は、ブルーマチックは、当該保証修理費用相当額の返還を請求することができます。

第13条. その他の注意事項

1. 故障並びに損害の認定等についてブルーマチックとお客様の間で見解の相違が生じた場合には、ブルーマチックは、中立的な第三者の意見を求めることができます。
2. 修理依頼品において、返却可能日をお知らせしている場合(お客様のご都合でお知らせできない場合を含む。)、依頼をお受けした日から3ヶ月を経過してもお受け取りいただけない時は、ブルーマチックにて処分します。その際には修理費用(キャンセルに伴う一切の費用を含む。))に加え、処分に要した費用の一切を、ブルーマチックの請求に従い速やかにお支払いいただくものとします。
3. お客様は、本製品をご購入または設置いただいた時点で、本規程にご同意いただいたものとします。

第14条. 本規程の変更

1. ブルーマチックは、本規程の目的に反しない限度で、法令に従って本規程を変更することがあります。
2. 前項に基づき本規程を変更する場合には、ブルーマチックのホームページへの掲載その他適切な方法により、変更内容及び変更時期を事前にお客様に周知することとします。

輸入代理店
ブルーマチックジャパン株式会社
神奈川県横浜市都筑区仲町台5-4-22

<メモ>



ブルーマチックジャパン株式会社

〒224-0041

神奈川県横浜市都筑区仲町台 5-4-22

<http://www.brewmatic.co.jp/>



050224